

日本音楽財団・全国公立文化施設協会共同事業

ストラディヴァリウス・コンサート



金川真弓

MAYUMI KANAGAWA

ヴァイオリン リサイタル

© Victor Marin

Program

J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 小短調

J.S. Bach : Sonata for Violin Solo No.1 in G Minor, BWV 1001

バルトーク：ルーマニア民俗舞曲

Bartók/Székely : Romanian Folk Dances Sz.56

ブーランジェ：『ノクターン』『コルテージュ』

Boulanger : Nocturne, Cortège

ラヴェル：ツイガース

Ravel : Tzigane

パガニーニ：「24のカプリース」から第1番、第10番、第24番

Paganini : Caprice Op.1-1, 10, 24

サン＝サーンス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 小短調

Saint-Saens: Violin Sonata No.1 in D minor, Op.75

※ 使用楽器 ストラディヴァリウス1725年製ヴァイオリン「ウィルヘルム」



© Janine Guldener

ピアノ：久未航

2024.9/23 [月祝] 14:00開演
(13:30開場)

一関文化センター中ホール

〒021-0884 岩手県一関市大手町2-16 (JR一関駅西口より徒歩約7分)

〈全席指定〉大人4,000円 小中高生2,000円

・当日500円増 ・未就学児童の入場はできません
・車イス席あり (当センター窓口・電話にて受付ます)

〈チケット発売〉7月4日(木)

9:00- インターネット・電話 予約開始
10:30- 文化センター窓口販売開始

〈チケット取扱〉◎一関文化センター ◎小原書店(一関市大東町)
◎文化センターインターネットチケット

〈お問い合わせ〉一関文化センター Tel 0191-21-2121



インターネット予約

300年もの前に製作された
ヴァイオリンの至宝「ストラディヴァリウス」。
世界にわずしか現存していないその名器を
用いて行なう本コンサートは
世界的ヴァイオリニストとピアニストを迎え、
クラシック王道の楽曲をお届けする。
時代を超えて人々を魅了し続けるその音色を
劇場で共に共有しましょう。

【主催】日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

公益社団法人
全国公立文化施設協会

特定非営利活動法人
一関文化会議所

【助成】日本財団

※ 当日は駐車場の混雑が予想されます。満車の際は近隣の市営・民間駐車場のご利用をお願いいたします。また、お越しの際は時間に余裕をみてお早めにお出かけください。



40th
Ichinoséki
Cultural Center
Since 1984

日本音楽財団・全国公立文化施設協会共同事業

ストラディヴァリウス・コンサート

このコンサートは、世界的に活躍する演奏家による名演と名器の音色を
身近なホールでお楽しみいただくとともに、
本コンサートのチケット代から得られた収益を地元に戻し、
各地域における音楽文化の振興と普及や、その他の公益事業に役立てることを目的としています。

Profile



© Victor Marin

ヴァイオリン 金川 真弓

Violin KANAGAWA Mayumi

ドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、その後ニューヨークを経て12歳でロサンゼルスに移る。現在はベルリンを拠点に演奏活動を展開している。ハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに、また名倉淑子、川崎雅夫、ロバート・リブセットの各氏に師事。音楽への専心と、豊潤かつ深い音色で奏でられる音楽性で聴衆を魅了している。

2018年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位入賞および最優秀協奏曲賞、2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位を受賞し、一躍注目を集める。これまでに、プラハ放送交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、札幌交響楽団等と共演している。2022年は、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団やベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団とのデビュー公演を行った。室内楽ではトランス＝シベリア芸術祭やヴェルビエ音楽祭等に出演しているほか、ドイツで若手演奏家によるアウトリーチを目的とするトナリ・ツアーズに参加した。日本では、シャネル・ピグマリオン・デイズでの公演も好評を得ている。

使用楽器は日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1725年製ヴァイオリン「ウィルヘルミ」。



© Janine Guldener

ピアノ 久末 航

Piano HISASUE Wataru

現在、その将来が囑望される新進気鋭の実力派ピアニスト。2017年、伝統と格式あるミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞して一躍国際的注目を集める。リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール第1位および特別賞、青山音楽賞バロックザール賞など多数の受賞歴を誇る。

天津市出身。2018年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

辰巳晴生・美行、村上久仁子、田隅靖子各氏の指導を受け、フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、それぞれ最優秀の成績をもって修了。G. ミシヨリ、E. シュトロッセ、P. ドヴァイヨン、K. ヘルヴィヒ各氏に師事。

これまで、AUDI音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭はじめ、数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、シュツットガルト室内管弦楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団などと共演。コンツェルトハウス・ベルリン、紀尾井ホールで開催されたリサイタルはいずれも絶賛を博した。シャネル・ピグマリオン・デイズ2019アーティスト。21年には、CD「ザ・リサイタル」をリリースし、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。ベルリン在住。

一関文化センター

指定管理：NPO法人一関文化会議所

〒021-0884 岩手県一関市大手町2番16号

(JR一関駅西口より徒歩約7分、一関図書館隣り)

Tel: 0191-21-2121 / Mail: bunka@ichi-bun.com